



2006年1月31日

各位

株式会社エムティーアイ
代表取締役社長 前多俊宏
(JASDAQ・コード9438)
問い合わせ責任者
取締役 兼 執行役員専務
経営企画室長 斎藤忠久
TEL: 03-5333-6323

2006年9月期の中間期および通期業績予想修正に関するお知らせ

2005年11月10日に発表した2006年9月期の中間期および通期業績予想を、下記のとおり修正します。

記

1. 2006年9月期の中間期業績予想修正(2005年10月1日~2006年3月31日)

(1) 連結

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
期初発表(A)	8,284 (+17.0%)	117 (-)	75 (-)
今回発表(B)	- (-)	235 (-)	185 (-)
増減額(B-A)	-	352	260
増減率	-	-	-
2005年9月期の 中間期実績	7,082	349	479

()内のパーセント表示は、対前年同期比増減率です。

(2) 単体

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
期初発表(A)	5,958 (+12.8%)	200 (-)	200 (-)
今回発表(B)	- (-)	0 (100.0%)	20 (-)
増減額(B-A)	-	200	180
増減率	-	-	-
2005年9月期の 中間期実績	5,283	171	67

()内のパーセント表示は、対前年同期比増減率です。

2. 2006年9月期の通期業績予想修正(2005年10月1日～2006年9月30日)

(1) 連結

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
期 初 発 表 (A)	18,030 (+22.2%)	650 (+401.7%)	630 (-)
今 回 発 表 (B)	- (-)	820 (+532.9%)	- (-)
増 減 額 (B - A)	-	170	-
増 減 率	-	26.2%	-
2005年9月期の 通期実績	14,757	129	125

() 内のパーセント表示は、対前年同期比増減率です。

(2) 単体

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
期 初 発 表 (A)	14,420 (+46.3%)	480 (+7.8%)	380 (+62.4%)
今 回 発 表 (B)	- (-)	590 (+32.5%)	400 (+70.9%)
増 減 額 (B - A)	-	110	20
増 減 率	-	22.9%	5.3%
2005年9月期の 通期実績	9,859	445	234

() 内のパーセント表示は、対前年同期比増減率です。

3. 業績予想修正の理由

(1) 中間期業績見通しの変更

コンテンツ配信事業の有料会員数は計画通り順調に拡大しましたが、主に着メロの退会率低下による売上原価率の低減、情報系コンテンツにおける開発案件の開始時期のズレや成長が期待されるコミック配信等の新規事業の立ち上げ時期のズレに伴う経費の未消化により、経常利益、中間純利益ともに期初に発表した中間期業績見通しを上回ることとなったので、連結および単体の中間期予想値を上方修正します。

(2) 通期業績見通しの変更

売上高は下半期も中間期までの傾向が続き、計画通りに推移すると見込まれます。一方、音楽系コンテンツにおいて、サービス拡大に向けた費用負担が発生する見込みであり、また、中間期に開始予定であった情報系コンテンツの開発案件を下期に実行し、コミック配信等の新規事業の立ち上げについても本格化していくことに伴い、下期にこれらに関わる経費が追加計上されます。

以上より、連結については経常利益、単体については経常利益、当期純利益ともに期初に発表した通期業績見通しを上回ることとなったので通期予想値を上方修正しますが、その修正額は中間期と比べて小さくなっています。

以 上

<見通しに関する留意事項>

本資料における業績の見通しは、当社が本資料発表時点で入手可能な情報による判断、仮定、および、確信に基づくものであり、今後の国内および海外の経済情勢、事業運営における内外の状況変化、あるいは、見通しに内在する不確実な要素や潜在的リスク等、さまざまな要因によって、実際の業績は見通しと大きく異なる結果となり得ることがあります。なお、リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する予測不可能な影響等も含まれます。



【お問い合わせ先】

株式会社 エムティーアイ 経営企画室（松本・村山）

Tel : 03-5333-6323

Fax : 03-3320-0189

E-mail : ir@mti.co.jp

URL : <http://www.mti.co.jp>